



福岡県小郡市大板井1143-1  
 電話番号 0942-72-7221  
 FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会  
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



2017/10/15



がんばったよ！

### こぐま学園運動会

10月15日(日)こぐま学園の運動会が行われました。あいにくの雨でしたが「はぐ・ゆう・しろくま」のお友だち78名、ご家族の皆様にもたくさんのご来場を頂き、総勢346名での運動会となりました。

会場である大原小学校の体育館は入場行進や各グループの競技が始まると雨の音に負けないくらい笑い声や歓声に包まれました。

いつもとは違った場所、雰囲気の中で大好きな保護者の方と一緒にダンスを踊ったり、また保護者の方と離れて療育の中で取り組んできたことを披露してくれたり、子どもたち一人ひとりがそれぞれのチャレンジを見せてくれました。

待ちに待ったお弁当の時間では愛情がたっぷり詰まった手作りのお弁当を本当に嬉しそうに食べる子どもたちの表情が素敵でした。

最後の年長児競技では一步一步自分の力で前へと進む子どもたちの姿に勇気と感動を頂きました。それを見守るご家族様のあたたかい涙もあいまって会場全体がひとつになって応援することが出来ました。

大きな行事を経験し、たくさんの方々に応援して頂く中で、子どもたちが成長する姿を見ることが出来て大変嬉しく思いました。

最後になりましたが、お忙しい中、また足元が悪い中たくさんのご家族の皆様のご参加、ご声援本当にありがとうございました。

(保育士 鎌田)

## 心の窓

子育て支援「子どもの家」  
ありさ  
有紗ちゃん

8月で3歳になった子どもの家を利用して有紗です。おおむしグループにも参加しています。子どもの家は昨年5月、1歳半の時から週に1、2回利用しています。3人兄弟で年中の兄と10か月の弟がおり、子どもの家を利用するきっかけになったのは、兄がグループ療育に参加するようになったことでした。

いから、ある日、お迎えに行っても泣き疲れて寝ている有紗の姿はなく、みんなと一緒にいる有紗がいました。その光景は普通の事ですが、私にとってはすごく驚きで有紗にとっても大きな一歩だったと思います。それからの有紗はまだまだ無表情ではありませんが、『先生』という存在がわかり始め、私からも少しずつ自立するようになり、みんなと一緒に遊べる子になって、表情も少しずつ出始めています。託児所では直接彼女の様子を見ることはありませんが、全てが有紗にとってプラスとなる経験だったんだとこの1年半で感じました。有紗の一番大事な成長のときをこぐまや子どもの家で育てていただきました。今やこぐまや子どもの家は私達家族にとってかけがえのない場所です。今、有紗はイヤイヤ期を迎えています。色が色んな経験をして有紗らしく成長していったらいいなと思います。

(有紗の母)



こんには。こぐま福祉会に復帰して3年目を迎えた、こども支援部地域療育課保育士、大分県日田市から通勤している川村です。訪問や出張療育に出かけていることが多く、初めましての方もたくさんいらっしゃると思っています。自己紹介として、人生を重ねてきた私の日々の面白エピソードをちよつとだけお話しさせて頂きます。



かわむら  
保育士 川村

している時は名前を呼んでいるのに：あれっ？別れると思いいせないので。10年前のことは昨日のことのように覚えているのに、10分前のことが遠い出来事のように。パソコンの利用とともに漢字が書けなくなり、携帯電話を使うようになって親しい友人の番号も覚えていません。そんな私の悩みを知ってか、買い物に行った時に見つけた「記憶力を維持する・中高年向け・ほろにがミント味」のガムが売られていました。粒タイプとシートタイプを買って噛んでいます。効果は：実感はありません(笑)。

保育士になって、随分と年月が経ちました。ただただ一生懸命な時代を過ぎると、自分の力のなさを実感するようになり、自分が担任でないほうが子どもたちは豊かに日々を過ごせるのではないかと悩み…。それでも一緒にいたくて、保育士を続けてきました。子どもたちが自分らしく、愛されていることを実感できるような保育ができるようになりたいと思ってきました。その瞬間を：その時期をよりよく生きるための保育や支援を行える保育士になりたくて努力してきたつもりですが…。未熟な自分に溜息をつきながら、今日もドタドタと奮闘しています。定年退職を迎える日も遠い未来ではなく、今、後悔しないように子どもたちと向き合っています。よろしくお願いたします。



☆ 楽しい思い出ができました ☆



みんなではい千ース！！

☆ お泊り保育を行いました ☆

9月1日(金)から1泊2日でお泊り保育が実施され、くわがたグループとかぶとむしグループの年長児14名が参加しました。

大きな荷物を抱えて、ドキドキした表情で登園した子どもたちも、それぞれの活動が始まるいつもの笑顔が見えました。くわがたグループのお友だちは、アリーナ棟でリズムあそびやレクリエーションを楽しみ、かぶとむしグループのお友だちは、大好きな水あそびを満喫しました。その後は、お楽しみみのクッキング。野菜をちぎったり切ったり、それぞれの好きな工程に分かれてカレーライスとサラダを作りました。その後は、みんなと一緒に風呂に入ったり、影絵や花火を観たり、お泊り保育ならではの活動を楽しみました。

辺りが暗くなると、家族が恋しくなる子どもたちもいましたが、「みんなと一緒にだから大丈夫」と子どもたち同士で声を掛け合っている姿は、とてもたくましく感じました。そして、帰りのお集まりでは、ひとまわりもふたまわりも、お兄さん、お姉さんらしくなった子どもたちの姿がありました。

(保育士 妹川)

～保護者の方の感想です～



初めて親元を離れてのお泊りで、何日も前から私の方が、ドキドキソワソワしていました。が、先生やお友達も一緒なので安心でした。いつもと違う雰囲気の中でも、あまりやった事のない活動や初めての事にも、ずっと笑顔でチャレンジ出来ていたそうで、お迎えに行った時は、とびっきりの笑顔を見せてくれました。とても楽しかったんだなと思いましたし、親が思っている以上に強く成長してくれているんだと感じる事が出来ました。

とても良い経験になったと思います。関わって頂いた皆様には感謝でいっぱいです。有難うございました。

(龍貴の母)

「くわがたさんでお泊りするの9月の1と2やんね」と楽しみにしていたお泊り保育。当日は親子共にソワソワ「まだ行かんと」と期待一杯の様子でした。母と離れて寝るのは初めての経験でしたが、大好きな先生達と一緒になので安心していました。

5年ぶりの夫婦2人の時間も中央の事ばかりでした。翌朝どんな顔をするのか楽しみに迎える行くと、先生達から夜眠れずに泣いてしまったと聞きびっくりしました。一夜よく頑張ったんだと思います。第一声は「お家帰ろう」でした。親の手を離れいるいろいろな経験が出来た事、ちよつと淋しくもあり嬉しい思いで一杯です。

(中央の母)



☆ べあクラブ宿泊体験 ☆

8月18日(金)～8月19日(土)と9月1日(金)～9月2日(土) 1泊2日の宿泊体験を、こぐま学園内で実施しました。

1日目はスポーツでいい汗をかき、ゆつたりと入浴を楽しんだ後は、カレーやサラダ、ヨーグルトなどを皆でおいしく頂きました。

ご家庭とは違った雰囲気での風物詩のスイカ割りや、豪華な吹き上げ花火など、楽しい経験になりました。

2日目は思い出制作で、出来ばえにわくわくドキドキしながら色々なキャンドルにデコパージュを行い、思い出となりました。

普段の日中利用では行うことができない体験をべあクラブの皆で体験することで、より一層絆が深まったのではないかと思います。

吹き上げ花火やスイカ割りやゼリー釣りのレクリエーション、デコパージュを皆ニコニコして楽しみ、満足されている様子でした。宿泊体験を経験されることにより、他施設への短期入所へとつながり、自立準備へと繋げていければと思います。

(生活支援員 遠藤)

☆ 素敵な思い出が出来ました ☆



### ☆ときめきスポーツ大会☆

9月9日(土)久留米総合スポーツセンターにて「ときめきスポーツ大会」が開催されました。

毎年、福岡県内の知的障害者を対象に、スポーツ参加を通して、スポーツに親しみ、喜び楽しむと共に体力の維持・増進を図り、また、社会参加などを目的として開催しているものです。陸上競技・フライングディスク・卓球・ボウリングの四競技に約2200名の参加がありました。

こぐま福祉会からは、愛らんど・ワークステップ・スマイルワークより、18名の利用者様が参加しました。

初めて参加される方も多かったのですが、緊張しながらも自分のペースで一生涯命取り組む姿が印象的でした。また、ご家族が横断幕や団扇を準備し、大きな声援を送られる姿がとても微笑ましく、家族の『絆』が感じられた大会でもありました。

結果は、金メダル2個と銅メダル2個を獲得することが出来ました。

(生活支援員 藤崎)



### 研修報告

9月18日(月)に滋賀県で行われた「Kids Loco Project研修会」に参加してきました。「Kids Loco Project」とは、びわこ学園の理学療法士、高塩純一先生と滋賀県立大学の工学部機械システム工学科教授、安田寿彦先生が主となり構成されている団体で、身体に障害をもつ子ども達に適した移動機器を開発するチームのことです。この団体が開催している研修会はワークショップが中心であり、今年で5回目の開催となります。

台風の影響もあり、研修会の日程が変更されるなど波乱もありましたが、研修会当日は天気も回復し、無事に参加することができました。今回、この研修会でホームセンターや模型店で買うことのできる材料を使用し、乳幼児向けの電動車いすを作製してきました。

この機器は、移動が困難な子ども達に早期から導入して自発的な移動を促し、環境への働きかけや活動への参加を可能にするものです。また、移動経験は認知面や社会性、コミュニケーション能力の発達とも関連するといわれています。こぐま学園を利用している方の中にも、自力で動くことや移動することが困難な子どもたちがいます。その子どもたちの世界を広げることに役立てていきたいと考えています。

(理学療法士 伊藤 雄)

### 「こぐま学園もちつき大会」

#### 「案内」

今年も、もちつき大会を開催します！

日程…12月17日(日)  
時間…10時～13時  
場所…こぐま学園 園庭  
参加費…無料  
※雨天決行です。

出来立てホヤホヤのとっても美味しいおもちを、ついて、丸めて、その場で食べられます。日本の伝統的な文化を体験してみませんか？スタッフ一同、たくさんのご参加お待ちしております♪

(もちつき係 大庭)



### 「尾久保研修所もちつき・クリスマス会」案内

#### 「案内」

今年も尾久保研修所「みんなの館」にて、恒例の『もちつき・クリスマス会』を行います。1年の締めくくりに、日本の伝統行事に触れ、その後は、ご参加の皆様と一緒にクリスマス会を楽しみたいと思っております。当日は、つきたてのおもちで作ったお雑煮や、その他、クッキー等を準備しております。たくさんのご参加をお待ちしています。

日程…12月23日(土)  
時間…午前9時～  
参加費…五〇〇円(中学生以上)  
三〇〇円(小学生)  
お問い合わせ先  
0943(54)3900



(みんなの館 松尾)

### 新入職員紹介

濱本 知子 (こども支援部 保育士)

牛島 悦子 (尾久保研修所 支援員)

竹田 七恵 (総合支援部 臨床心理士)

内藤 五三 (総合支援部 看護師)

### 退職者紹介

大里 沙織 (事務部)

### 行事予定

11月 29日(水) 職員研修のため休園

12月 2日(土) 第8回こぐま学園 発達支援セミナー

9日(土) おとな支援部 成人式

14日(木) 避難訓練

17日(日) もちつき大会

18日(月) 休園

23日(土) 尾久保もちつき会 (もちつき振替休日)

28日(木) 休園(大掃除)

29日(金) 31日(日) 年末休暇

1日(月) 4日(木) 年始休暇

5日(金) 鏡開き

18日(木) 避難訓練

